

つなぐ



JAPAN AIRLINES



令和3年3月に連携協定を結んだ、日本航空株式会社（JAL）と益城町。

同年4月から同社の社員が町に派遣され、

さまざまな取り組みを通して連携を深めています。

今号では、未来へ「つなぐ」取り組みや、JALと町を「つなぐ」派遣職員、

さらにJALグループ機内誌「SKYWARD」^{スカイワード}11月号の企画のために実現した

赤坂祐二代表取締役社長と西村町長の対談を紹介します。

（機内誌掲載文から一部要約して抜粋）

小中学生のお仕事体験

町内の小中学校にJALグループ社員が出向き、お仕事講座を実施。児童・生徒たちはクイズに答えたり、体験したりしながらグラウンドスタッフや整備士、グラウンドハンドリングスタッフなどの仕事を学んでいます。

また、令和4年7月には阿蘇くまもと空港で、木山中2年生3人の職場体験学習を実施。カウンターでのチェックインや手荷物預かりを体験したり、普段立ち入ることができない場所での飛行機の見送りや、コックピットでの見学をして「空のお仕事」を学びました。

Interview

「空のお仕事」を体験して

空港での職場体験で、いろんな体験をさせてもらいました。パイロットやグラウンドスタッフなどそれぞれに役割があり、たくさんの方の力が合わさって、1つの飛行機を動かしているのがすごいと思いました。将来は客室乗務員になりたいです。



木山中2年
たけもとあいる
竹本愛琉さん



- 1 阿蘇くまもと空港で、出発する飛行機をスタッフと一緒に見送る職場体験中の生徒たち
- 2 益城中央小での職業講話
- 3 空港職場体験では手荷物預かり業務にも挑戦